TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝コンポーネンツ(株)　サイトレポート情報

所在地　：茂原地区：千葉県茂原市茂原６４７番地
　　君津地区：千葉県君津市内箕輪７０番地

敷地面積：茂原地区16,457m^2、建家面積:6,241m^2、緑化率22.8%
　　君津地区38,945m^2、建家面積:9,149m^2、緑化率17.4%(規制対象外)

設立：1939年10月、正規従業員：茂原地区　400人(2010年3月末現在)
　　君津地区　200人(2010年3月末現在)

主要製品：パワートランジスタを主体としたディスクリート半導体

ISO14001認証取得：1998年9月(セミコンダクター社グループとしての統合認証実施年月：2007年8月)、ISO14001統合認証の有効期限：2013年8月(2010年8月更新)、ISO14001認証番号：EC98J2014

茂原地区

君津地区

ごあいさつ

東芝コンポーネンツ株式会社は、気候温暖で、緑豊かな自然環境に恵まれた房総半島に位置します。パワートランジスタを主体としたディスクリート半導体の製造拠点として、環境に配慮した事業活動の推進と半導体の提供を通じて、社会に貢献することを目指し、環境保全活動に従業員一丸となって取り組んでいます。

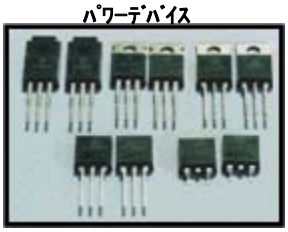
環境保全責任者
田中　敏明

2009年度の環境の主な取組み

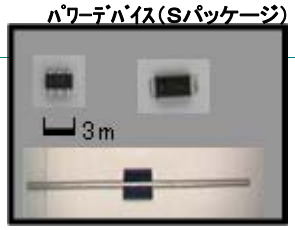
☆ＩＳＯ１４００１環境マネジメントシステム
　２００８年６月にセミコンダクター社としての統合化認証を取得。
☆環境保全体制の充実
　法令、条例の順守。現場管理の強化。
☆化学物質環境排出量の削減　　目標達成
　化学物質の環境排出量：年度末累積目標１４．５（ｔ）以下：実績１３．７（ｔ）。
☆ＣＯ２排出量の削減　　目標達成
　省エネ施策によるCO2排出量削減実績：６４０（ｔ－CO2)　(目標：５９０（t－CO2）削減)
☆資源の有効利用推進　　目標達成
　・廃棄物総排出量：年度末累積目標　１，４９８ｔ以下：実績１，１７０ｔ。
　・用水使用量：年度末累積目標３９８（千m^3)以下:実績347(千m^3)
☆環境コミュニケーションの推進　　目標達成
　小学校環境教育、地域部会の参加、環境報告書の発行をした。
☆全員参加・啓発活動の展開
　環境月間・３Ｒ推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュース、環境ＴＯＰ点検等。
☆地域との協調
　地域への環境行事の参加、清掃ボランティア活動、法人の森事業植栽活動への参加等

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

ﾊﾟﾜｰﾃﾞﾊﾞｲｽ



ﾊﾟﾜｰﾃﾞﾊﾞｲｽ(Sﾊﾟｯｹｰｼﾞ)



高周波デバイス

ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞIC

環境コミュニケーションの紹介

・環境報告書の発行：２００３年度より毎年発行
・地域との交流（参加）：千葉県環境保全協議会　長生、夷隅、安房地区部会及び君津地区部会への参画
　　：茂原市「ゴミゼロ運動」への参加
・自治体等主催行事参画：茂原七夕まつり、君津ふるさと祭りへの参画
・地元小学生の環境教育：君津市八重原小学校５、６年生への環境教育及び排水処理工程の見学と実験、質疑

東芝コンポーネンツ（株）環境方針

ー 理 念 ー

東芝　セミコンダクター社グループは、東芝グループの環境基本方針である「 ” かけがえのない地球環境” を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

ー 方 針 ー

東芝コンポーネンツ株式会社は、東芝 セミコンダクター社グループ環境方針に基づき、気候温暖、緑豊かな自然環境に恵まれた房総半島東部の茂原及び西部の君津の２地区に位置し、パワートランジスタを主体としたディスクリート半導体の製造拠点として、環境に配慮した事業活動の推進と半導体の提供を通じて、社会に貢献することを目指す。そして、環境保全への取り組みを会社経営の最重要課題の一つと位置づけ、上記理念に基づき環境保全活動を技術的、経済的に可能な範囲で推進します。

１．倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティー）

１）コンプライアンスの徹底を図るため、当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を順守します。

２）環境活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

２．実行（エクセキューション）

企業活動の実行においては、全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

１）エネルギー起源CO_2排出量の削減を図り、地球温暖化防止を推進する。

２）資源枯渇を防止するため、廃棄物の総排出量の削減、用水の削減など資源の有効利用を推進する。

３）化学物質の管理及び環境排出量削減による環境リスクの低減を推進する。

４）環境コミュニケーションを推進する。

５）組織で働く又は組織のために働くすべての人の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動に努める。

～この環境方針は社内外に公表する～

制定日：1998年5月19日

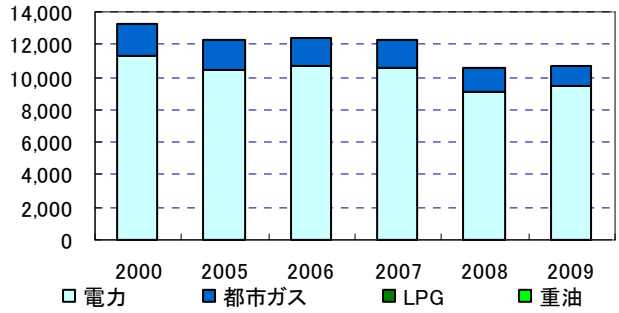
改訂日：2010年9月　9日

東芝コンポーネンツ株式会社

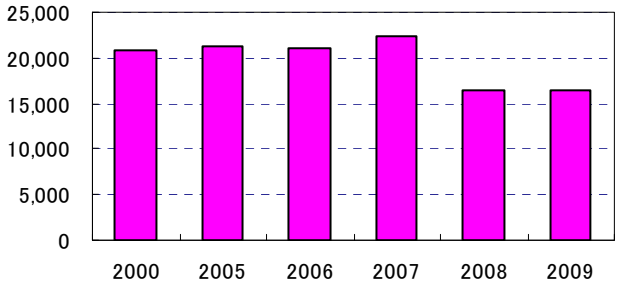
環境保全責任者：田中敏明

環境負荷データ

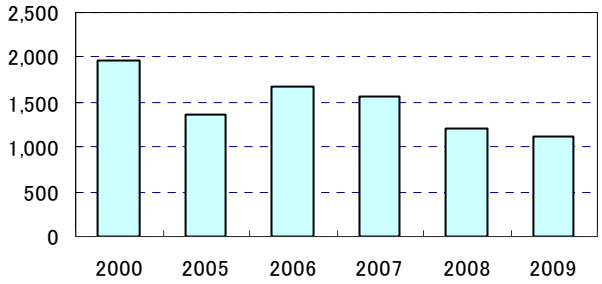
エネルギー使用量（単位：KL）



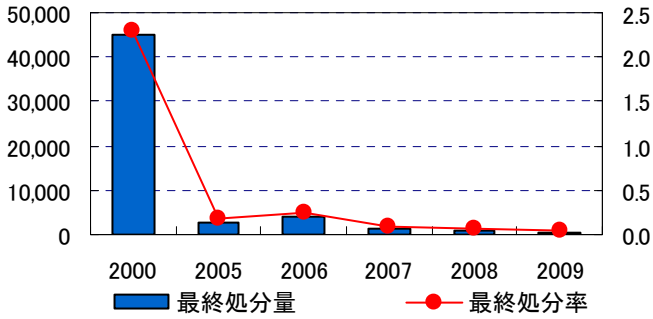
CO_2排出量（単位：トン－CO_2）



廃棄物総発生量（単位：トン）

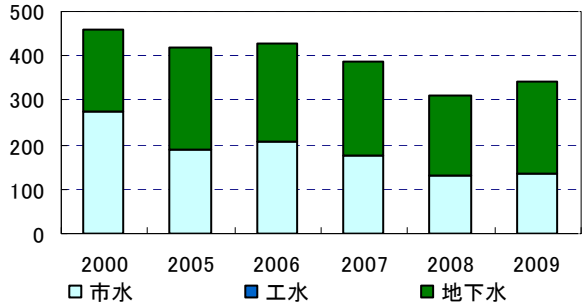


廃棄物最終処分量と最終処分率（単位：kg、%）

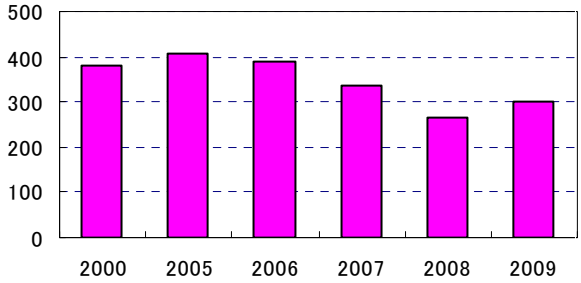


主な廃棄物名：酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

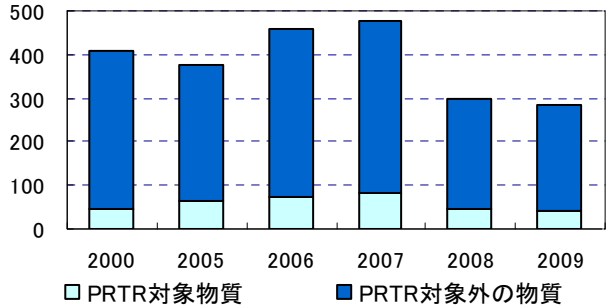
水の使用量（単位：千m³）



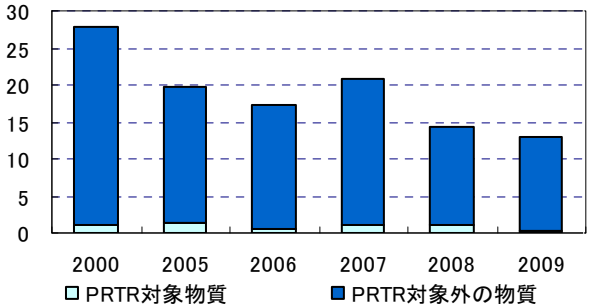
排水量（単位：千m³）



化学物質削減対象物質の取扱量推移（トン）



化学物質削減対象物質の排出量推移（トン）



主な化学物質：塩酸、アンチモン、フッ化水素酸

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

遵法管理状況

大気測定結果（茂原地区：炉筒煙管式ボイラー（天然ガス使用） 2台　君津地区：貫流ボイラー（都市ガス使用）2台）

茂原地区	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx（ppm）	150以下	100以下	45	年2回
SOx（Nm3/h）	対象外	―	―	―
ばいじん（mg/Nm3）	100以下	10以下	<1	年2回
君津地区	**法規制値**	**自主管理値**	**実測値**	**測定頻度**
NOx（ppm）	150以下	100以下	39.5	年2回
SOx（Nm3/h）	対象外	―	―	―
ばいじん（mg/Nm3）	100以下	10以下	<1	年2回

排水測定結果（主な測定結果）（酸又はアルカリ表面処理施設、君津地区：河川（小糸川）、茂原地区：市下水道へ放流）

茂原地区	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5～9	5.2～8.8	7.0～7.6	月1回
BOD（mg／リットル）	600以下	184以下	96	月1回
SS（mg／リットル）	600以下	83以下	25	月1回
窒素（mg／リットル）	240以下	40以下	7.7	年4回
フッ素（mg／リットル）	8以下	1以下	0.39	月1回
君津地区	**規制値**	**自主管理値**	**実測値**	**測定頻度**
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6	6.0～8.4	7.5～7.8	月1回
BOD（mg／リットル）	10以下	7以下	1.3	月1回
COD（mg／リットル）	16.9以下	10.2以下	4.1	月1回
SS（mg／リットル）	20以下	9以下	<1.0	月1回
窒素（mg／リットル）	20以下	13.6以下	8.6	月1回
フッ素（mg／リットル）	8以下	7以下	4.6	月1回

騒音・振動測定結果（特定施設（騒音施設（空気圧縮機、送風機など）、振動施設（圧縮機など）

茂原地区	測定場所：時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音（dB）	敷地境界：昼	65以下	64以下	59	2回/年
	敷地境界：夜	55以下	54以下	51	2回/年
振動（dB）	敷地境界：昼	60以下	59以下	43	2回/年
	敷地境界：夜	55以下	54以下	44	2回/年
君津地区	**測定場所：時間**	**規制値**	**自主管理値**	**実測値**	**測定頻度**
騒音（dB）	敷地境界：昼	60以下	59以下	57	2回/年
	敷地境界：夜	50以下	49以下	48	2回/年
振動（dB）	敷地境界：昼	60以下	59以下	37	2回/年
	敷地境界：夜	55以下	54以下	32	2回/年

環境事故・指導指摘・苦情の有無

茂原、君津地区	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし